



一関出張所管内工事紹介 [第7弾] 北上川上流薄衣地区河川維持工事

堤防等維持作業	河川巡視業務
出水時等状況把握業務	内水排除作業 (排水ポンプ車)



草刈り作業の様子



パトロールの様子



堤防点検の様子

主に堤防の草刈り作業を行っており、東京ドームのグラント59個分(約77万㎡)の広さを年に2回行っています。草刈りは堤防に異常が無い点検をしやすくするために行ってます。

維持工事は、台風や、地震があった場合は大変な事も多いですが、パトロール結果をもとにした堤防の補修、河川管理施設の状況の把握など確実に迅速な対応を心がけ、日々頑張っています。



集中管理センターの様子



排水ポンプ車出動時



パトロールの様子



出水時等状況把握訓練の様子



排水ポンプ車訓練の様子



排水ポンプ車訓練の様子

大雨による川の増水や、大きな地震があった場合に堤防などが壊れたりしていないかをパトロールします。パトロールは昼夜問わず行われ、現場ではカメラ付携帯端末を使用し情報を収集し、あいぽーと内にある集中管理センターで情報の整理、状況の把握を行っております。

内水排除作業は大雨や洪水で河川からあふれた水を大型のポンプでくみあげる作業です。ポンプの能力は毎分60㎡で、25mプール(25×13×1.5)であれば、約8分程度でカラにすることが出来ます。昨年は東日本大震災の津波による被災地でも活躍しました。

◆◆編集後記◆◆岩手河川国道事務所では、平成29年度の1年を通じて「カスリン・アイオン台風」から「70年」を節目に、これまでの水害を振り返り、これからの防災について住民一人一人がしっかり認識し、風化させないための「語る会」や「パネル展」等の取り組みを行っていきます。(Y)



胸に刻もう 『カスリン・アイオン台風70年』

～風化させない歴史とつなげる未来～